

ぽけっとの歩み

ぽけっとが生まれるまで

西印旛地区には精神疾患を持つ人たちの社会復帰を支援する施設が全くなかったことから、近隣の病院に勤務する精神のワーカーや当事者、家族と市民がこころを病むひとたちの健康・福祉の向上や自立と社会参加を支援するたNPO”ぽれぼれ”を設立しました。

市民を対象に「ストレス社会と心の健康」をテーマに連続講座を開いたり、こころのボランティア講座を行ったりましたが、当事者を対象とした活動もしてほしい。何か仕事をしたいという要望がありました。地元の梨農家から、剪定枝の片づけをやってみないかと誘って頂いたのが、初めて賃金を稼ぐ活動でした。

2004年7月には千葉県知事の認証を得て、NPO法人ぽれぼれ・ちばとなりました。

梨の枝片付けが終わった後、畑をお借りしてトウモロコシ、枝豆、里芋を植えましたが、枝豆は野うさぎに食われ失敗。あの作物はスーパーの出荷し、賃金をかせぐことが出来ました。2005年も畑と梨の枝片付けはつづけましたが、家族とボランティアだけで支援するのは限界となり、白井市に精神障がい者の共同作業所を設置するよう働きかけ、2006年度に開設されることになりました。

ぽけっとの誕生

2006年6月、家族会(しらゆりの会)が日曜日に使っていたあんしん館(旧河原子派出署住宅)を一部改修し、共同作業所 ぽけっと が開所しました。

登録利用者は12名。白井市、印西市、鎌ヶ谷市本塙村、印旛村の人たちでした。職員は常勤1名非常勤3名、ボランティア1名で、いづれも経験は

なく、もちろん、農業経験もないものばかり。無謀とも言える出発でした。その後2008年4月、地域活動支援センターⅢ型に移行、今年2011年6月には5周年を迎えることになります。

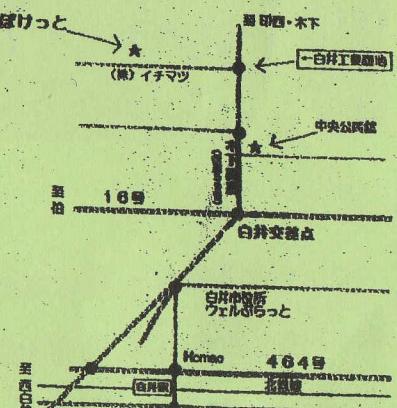
< ご利用にあたって >

- ・ご自分の意志で利用すること。
- ・精神科医療機関に通院、服薬を守っていること。
- ・ぽけっとの利用規約を守ること。
- ・主治医の意見書をご提出いただきます。
- ・利用体験期間を経たのち、面談し利用について決定します。



地域活動支援センター ぽけっと

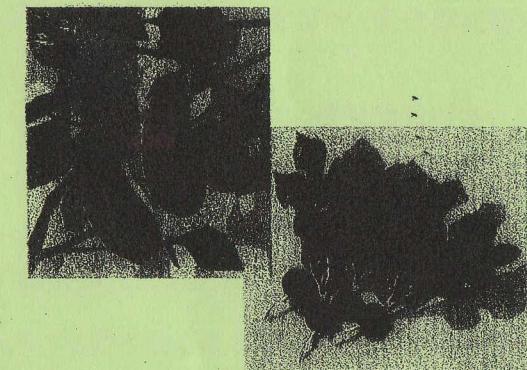
〒270-1421
千葉県白井市白井 430-19
TEL & FAX 047-498-2400
E-mail pocket-iagaimo@hb.tp1.jp



地域活動支援センター

ぽけっと

ご利用のご案内



特定非営利活動法人
ぽれぼれ・ちば

ぼけっとは

精神疾患を持つ人たちが昼間、有意義に過ごし、日常生活を自立し、社会復帰が出来るように支援する所です。

ここ、白井や印西、西印旛地区にはそんな施設がなかったので、2006年6月に開設しました。

活動内容は

日常生活に必要な対人関係、生活や金銭の管理と就労訓練のため、こんな活動をしています。

生産活動 野菜づくり 種播き、育苗、生育管理、
収穫、出荷、一部販売
パン、クッキーづくり

創造的活動

陶芸教室 鎌ヶ谷市にある蝸牛窯に行きます。

パン教室 パンづくりのボランティアさんが先生です。

家庭料理教室 利用者が話し合って何を作るか考えます。

社会生活訓練活動

ミーティング 每月第3土曜日に来月の行事、家庭料理の内容を決めます。また、ぼけっとの中で困った事なども話し合います。

行事(イベント) 毎月1回、外出をします。春はお見、お正月は初詣など。来月は上野動物園に行くようになりました。

外部請負作業 農家や市の施設で作業し色々な人たちと交流を持ちます。

メール便配達 地域の人たちと交流を持ちながら、1日15~180通のメールを配達します。

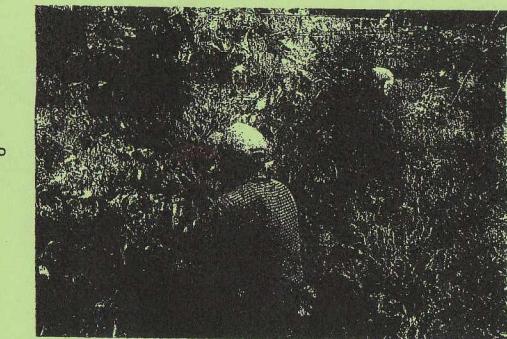
運営 主な収入は利用者が住んでいる市からの補助金です。その他、白井市から委託を受けて富士中予定地グランドの除草作業を年3回しています。農家か梨の剪定枝の片づけを請け負ったりもします。
野菜やパン・クッキーの売上と請負作業料金は作業参加者への工賃や資材、材料費になります。

スケジュール

	月	火	水	木	金	土
9:45	そうじ				朝のミーティング	月に2回のみ
10:00~					作業またはプログラム	ミーティング
12:00					昼食・休憩	または
13:00~					作業またはプログラム	イベント

・利用料 500円／1ヶ月

・作業内容によって、工賃をお支払いします。



職員 現在、常勤職員3名、非常勤職員2名で利用者の支援しています。
うち、精神保健福祉士 1名、作業療法士 1名